

施策番号	2004		
施策名	地下鉄の魅力向上とまちづくりへのさらなる活用		
概要	地下鉄を市民生活やまちづくりに積極的に活用するため、市バスをはじめとした他の公共交通機関とのネットワークの強化、駅ナカビジネスの充実など、その魅力を高め、公共交通優先の社会への転換と沿線地域の活性化を推進する。		
担当局・部室	交通局・企画総務部	共管局・部室	
上位政策	20 歩くまち		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市高速鉄道事業経営健全化計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		26年度	27年度	28年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	地下鉄の旅客数(千人)	a	a	359	372	347	107.2%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度	27年度	28年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	地下鉄、市バスは、市民生活に役立っている。	a	a	233	211	57	14	14	529
				44.0%	39.9%	10.8%	2.6%	2.6%	
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		a	a	市民生活実感調査総合評価					a

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					27 年度	A
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	a		
(重み付けの理由) 本市のまちづくりをはじめ、あらゆる政策を総動員して実現を目指す1日5万人の増客は、将来にわたる地下鉄事業の安定的運営に向けた健全化策の最大の柱であり、客観指標による評価を重視する。						26 年度	A
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		28年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		27年度 決算額	28年度 予算額		
1	京都市高速鉄道事業	71,708,380	73,669,000	—	交通局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・引き続き、公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現を目指して、全庁一丸となって観光客や市民への地下鉄の利用促進に向けた取組、積極的な駅ナカビジネスの展開、ＩＣカードの普及促進など利便性の向上を図る取組、駅出入口への止水版の設置による浸水対策などの安全対策の強化等により、地下鉄の魅力を高め、公共交通優先の社会への転換と地下鉄を基軸としたまちづくりを推進する。

施策名	2004	地下鉄の魅力向上とまちづくりへのさらなる活用																		
指標名	地下鉄の旅客数（千人）																			
担当課	営業推進室		連絡先	8 6 3－5 0 9 4																
1 指標の説明																				
地下鉄の1日当たりの旅客数																				
2 指標の意味																				
ひとと公共交通優先の「歩くまち・京都」の発展に資する地下鉄1日5万人増客に向けた取組状況を示す指標																				
3 算出方法・出典等																				
算出方法：旅客収入から算出した1日平均旅客数 出典：事業担当課調べ																				
4 数値																				
	前回数値	最新数値	推移	目標値																
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度														
数値	359	372	13千人増	347	京都市高速鉄道事業経営健全化計画における旅客数見込み	107.2%														
	全国順位	中長期目標			備考															
		数値	目標年次	達成度			根拠													
数値		375千人	30年	99.2%			京都市高速鉄道事業経営健全化計画における旅客数増加見込み													
5 評価基準																				
1日当たりの旅客数が a：350千人以上 b：348千人以上349千人以下 c：347千人 d：345千人以上346千人以下 e：344千人以下																				
6 基準説明																				
京都市高速鉄道事業経営健全化計画（下表）における各年度の旅客数の見込みについて、達成をcとし、2千人の増減の範囲をbまたはd、それらを上回る（下回る）増減をa（e）とした。																				
<table><tr><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td></tr><tr><td>329千人</td><td>330千人</td><td>338千人</td><td>347千人</td><td>356千人</td><td>365千人</td><td>375千人</td></tr></table>							24	25	26	27	28	29	30	329千人	330千人	338千人	347千人	356千人	365千人	375千人
24	25	26	27	28	29	30														
329千人	330千人	338千人	347千人	356千人	365千人	375千人														
7 評価結果																				
<table><tr><td>26</td><td>27</td><td>28</td></tr><tr><td>a</td><td>a</td><td>a</td></tr></table>							26	27	28	a	a	a								
26	27	28																		
a	a	a																		